

事業所における自己評価結果
(放課後等デイサービス 公表用)

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 児童発達支援 いらぼ 山手教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		弊所では、集団PGと個別PGの両方を取り入れております。個別PGの際はお子様に集中していただけるよう、パーティション等で区切り、場所の構造化をはかっております。また、基準を上回った療育スペースを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	4			職員配置数に関しましては、これからもご利用者様が増えていく事を考慮し職員を増やして参ります。
	③	事業所の設備等のついて、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	トイレの扉を引き戸にするなど、全室段差がないように工夫しております。	トイレは引き戸となり、全室に段差をなくしておりますが、手すりが無いので、今後必要と判断した際は、手すりの設置を検討いたします。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			Jらぼは、昨年7月に開所した新しい事業所となる為今回が初めてとなります。親御さんにアンケート調査を実施し、集計→分析→改善点を洗い出し今後の具体的な業務改善内容を事業所内で検討いたしました。集計結果はHPでも公表をさせていただきます。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			Jらぼは、昨年7月に開所した新しい事業所となる為今回が初めてとなります。事業所内でアンケート調査を実施し、集計→分析→改善点を洗い出し今後の具体的な業務改善内容を事業所内で検討いたしました。集計結果はHPでも公表をさせていただきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		毎月2～4の様々な研修を実施しており、職員の専門知識・スキル向上に努めております。	専門性に関しましては、外部からの講師を招く等研修の場を設けております。職員の専門知識向上の為にこれからも継続してまいります。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		お子様の発達レベルと特性をアセスメントし、個々に応じた個別プログラムを提供できるようにしております。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		振り返りではお子様のターゲット行動に関して応用行動分析に基づいたアセスメント、次回以降の支援の在り方などを職員間で共有し考えております。	

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		朝夕方ミーティングでは新しい課題やニーズの確認、達成度などを常に職員間で共有し活動プログラムを考えております。	
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		平日・休日・長期休暇は、デイリープログラムや季節のプログラムをご用意し、時節に合わせた行事、日本の文化への理解を深めるプログラムを設定しております。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		児童の発達レベルと特性をアセスメントし、個々に応じた個別のプログラムを計画しております。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝のミーティングでは役割分担と個別プログラム準備、前回の様子、課題の達成度などを職員間で共有しております。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		振り返りではお子様のターゲット行動に関して応用行動分析に基づいたアセスメント、次回以降の支援の在り方などを職員間で共有しております。	
関係機関	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		集団プログラム内容や個別プログラム内容を記録し毎回親御様に公開しており、次回の個別プログラムに生かせるようスタッフ間の情報共有を大切にしております。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		6か月以内にはモニタリングを行い、アセスメントし、達成度の評価及び新たな課題抽出を行い、個別支援計画の更新を行っております。	
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	4			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		適時支援級や放課後キッズと連絡し必要事項の連絡・共有・確認を行っております。送迎サービス開始に際しては事前に親御様に送迎添乗員一覧表を御渡し、放課後キッズに情報共有のお願いをしております。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		現在、医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様をお預かりしておりますが、近隣の小児科との連絡体制は整えております。	医療的ケア児や重症心身障がい児は弊所がお借りしているビルの構造上の避難経路の観点とナースが常駐していない観点から受け入れはしていません。

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	お子様のご様子は可能な範囲でお通いになっていた事業所のモニタリング結果を共有していただき個別支援計画作成の参考資料として活用させていただいております。併行通所されておられる場合は他事業所と連携し弊所の個別支援計画を共有頂き足並みのそろった支援を目指しております。	
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしている	4	現在、該当児はおりませんが、今後必要になった際は情報共有し移行先でも本児に見合った支援が受けられるようにサポートをいたします。	
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	中部医療センターでの研修に参加しております。	
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		現在そのような活動は行なっておりませんが、今後必要と感じた際は検討いたします。
	㉔	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	自立支援協議会児童部会に入会しております。	自立支援協議会児童部会に入会しておりますので定例会には出来る範囲で参加していく予定です。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	利用された日の集団プログラム内容・個別プログラム内容を記録し、お子様の状況を毎回親御様と共有しております。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		
	㉘	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	親御様の中には、お仕事をされていたりする方もいる為、皆様のご負担にならない様お電話やメッセージにてその都度ご連絡させて頂いております。	
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		現在そのような活動は行なっておりませんが、今後は実施に向けて検討いたします。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	苦情を受けた際のマニュアルや体制を整備しており、定期的に職員の研修を行っております。 Jらぼでは、万が一苦情などのご連絡を受けた際は、まず現状を把握し職員へのヒヤリング・事実確認を行います。その後本社に報告し、対策・改善の為の会議を行い、謝罪・ご報告をさせていただきます。 少々お時間を頂きますが、誠心誠意を対応いたします。	
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	会報等は発行していませんが、避難訓練や日々の活動概要、また緊急時連絡体制等をお手紙以外のHUGやホームページでお知らせしております。	

非常時等の対応	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意している	4		プライバシー保護の研修を定期的に行い、個人情報情報が漏れないよう最新の注意を払っております。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		非日常と混雑した状態に対するストレス耐性が低めのお子様方が多いため事故が無いように慎重に検討いたします。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には定期的に研修及び訓練を行っております。親御様には必要であれば周知しております。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		避難訓練は年2回実施しております。また事業所安全計画を作成し、施設・設備・事業所外環境の点検、マニュアルの見直し、各種訓練、職員への研修を定期的に行なっております。	
	④⑩	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		食事アレルギーの児童のおやつは、各家庭でご用意頂いております。	
	④⑪	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ヒヤリハットインシデント報告書は事業所内で共有し、場合によってはマニュアルの見直しを行なっております。	
④⑫	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止委員会を設定し定例会を開催しております。また必要であればマニュアルの見直しを行なっております。さらに虐待防止の指針を策定し、職員には定期的に研修を行っております。		
④⑬	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		身体拘束適正化検討委員会を設定し定例会を開催しております。必要であればマニュアルの見直しを行なっております。さらに身体拘束適正化の指針を策定し、職員には定期的に研修を行っております。また親御様へは契約時に身体拘束について説明し同意を得て身体拘束同意書を作成しております。また、身体拘束を行った際には記録し親御様に報告いたします。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。